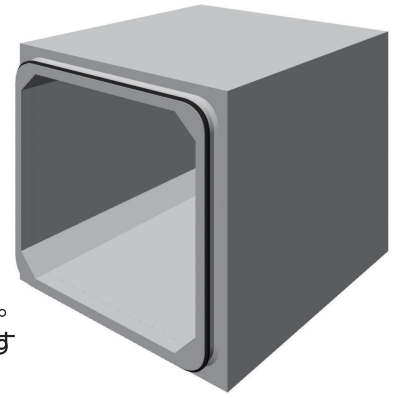


# S Jボックス



## 特長

1. 継手にゴム輪を用いるため、柔軟な構造の管路が構築されます。
2. 可とう性があるため、レベル2地震動における要求性能を満たすことができます。
3.  $-5\sim+35\text{mm}$  (1800mm以上は  $-5\sim+50\text{mm}$ ) 優れた抜け出し性能を発揮します。
4. 0.06MPaの止水性を挿し込むだけで確保できます。
5. ゴムリング1本で止水・耐震性能を有するため、製品を接合するだけですぐに、埋戻しができ、施工性に優れています。

## 実績



樋管での使用

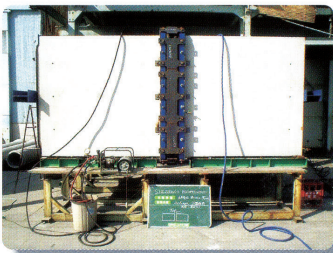


## 止水試験

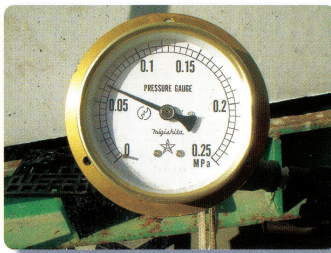
### 水平変位 抜け出し35mm

試験水圧 ▶ 0.06MPa 3分間保持 | 結果 ▶ 異常なし

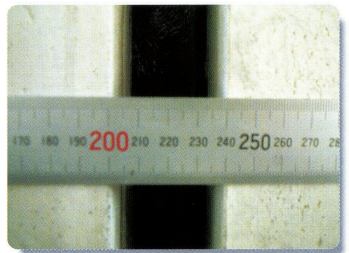
実験状況 (抜け出し35mm)



水圧 0.06MPa



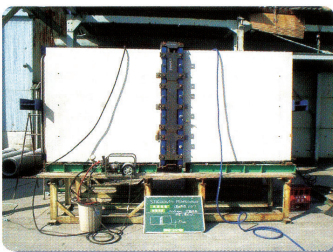
目地開き (40mm)



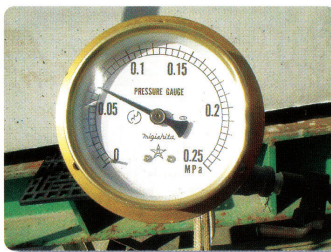
### 屈曲変位 1.0°

試験水圧 ▶ 0.06MPa 3分間保持 | 結果 ▶ 異常なし

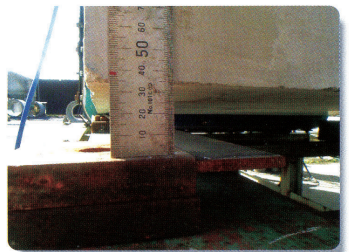
実験状況 (曲げ角度1.0°)



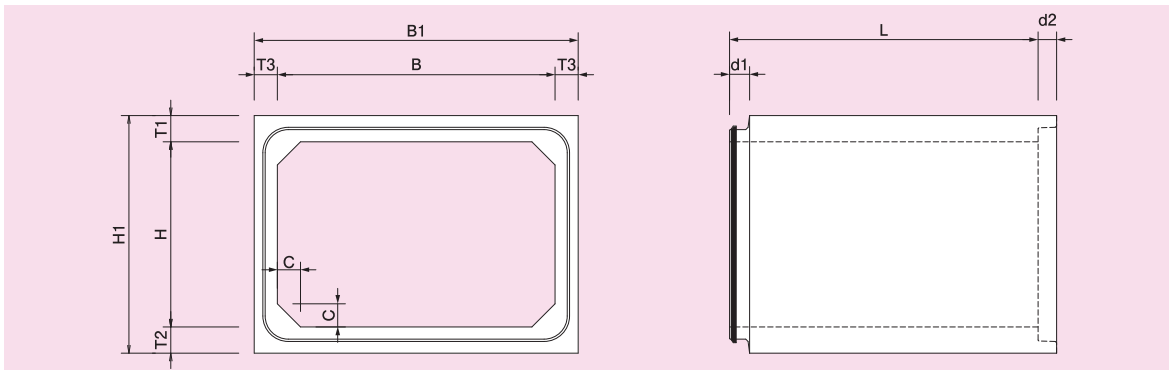
水圧 0.06MPa



傾き 35mm



寸法図



寸法表

呼び名 (B×H)	寸法 (mm)											参考重量 (kg)
	B	B1	H	H1	L	T1	T2	T3	C	d1	d2	
600×600	600	860	600	860	2000	130	130	130	100	100	100	2000
700×700	700	960	700	960	2000	130	130	130	100	100	100	2260
800×800	800	1060	800	1060	2000	130	130	130	100	100	100	2520
900×600	900	1160	600	860	2000	130	130	130	100	100	100	2390
×900			900	1160								2780
1000×800	1000	1260	800	1060	2000	130	130	130	150	100	100	2900
×1000			1000	1260								3160
×1500			1500	1760								3810
1100×1100	1100	1360	1100	1360	2000	130	130	130	150	100	100	3420
1200×800	1200	1460	800	1060	2000	130	130	130	150	100	100	3160
×1000			1000	1260								3420
×1200			1200	1460								3680
×1500			1500	1760								4070
1300×1300	1300	1560	1300	1580	2000	140	140	130	150	100	100	4100
1400×1400	1400	1660	1400	1700	2000	150	150	130	150	100	100	4540
1500×1000	1500	1780	1000	1320	2000	160	160	140	150	100	100	4470
×1200			1200	1520								4750
×1500			1500	1820								5170
1800×1200			1800	2100								1200
×1500	1800	2100	1500	1840	2000	170	170	150	150	120	120	6050
×1800			1800	2140								6500
2000×1500			2000	2320								1500
×1800	2000	2320	1800	2160	2000	180	180	160	200	120	120	7460
×2000			2000	2360								7780
2200×1800			2200	2560								1800
×2200	2300	2660	2200	2600	1500	200	200	180	200	120	120	7110
2300×1500			1500	1900								6320
×1800			1800	2200								6720
×2000			2000	2400								6990
×2300			2300	2700								7400
2400×2000	2400	2780	2000	2420	1500	210	210	190	200	120	120	7530
×2400	2500	2900	2400	2820	1500	220	220	200	200	120	120	8100
2500×1500			1500	1940								7340
×1800			1800	2240								7790
×2000			2000	2440								8090
×2500			2500	2940								8840
2800×1500	2800	3240	1500	1980	1000	240	240	220	200	120	120	5740
×2000			2000	2480								6290
×2500			2500	2980								6840
×2800			2800	3280								7170
3000×1500			3000	3480								1500
×2000	3000	3480	2000	2520	1000	260	260	240	300	120	120	7370
×2500			2500	3020								7970
×3000			3000	3520								8570

(注) 樋管で使用する場合は、上記の寸法表と異なります。

S Jボックス

継手構造



受口側



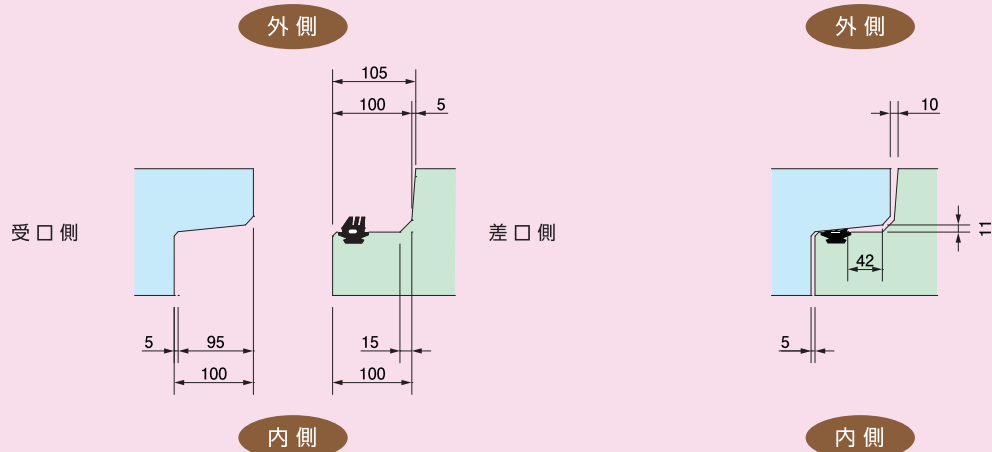
差口側



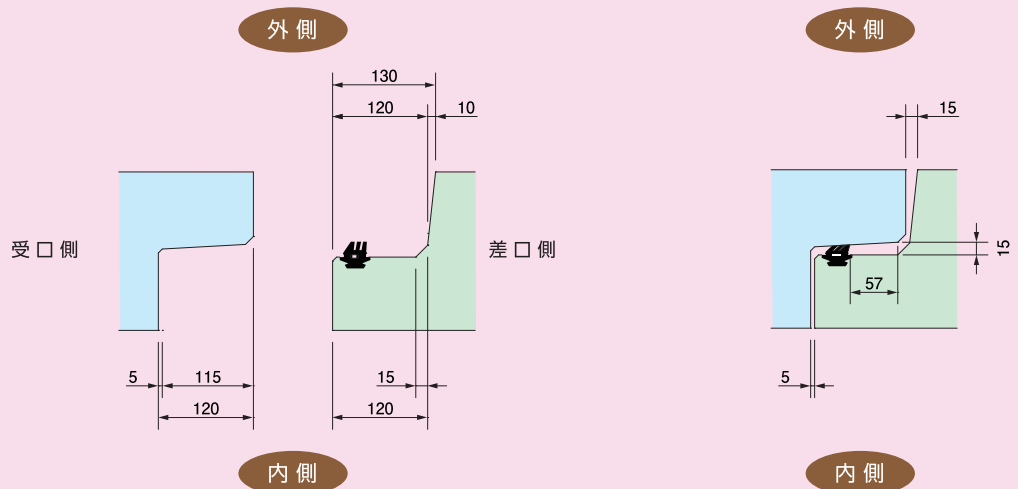
埋込ゴム

寸法図

100-150型 (600×600～1500×1500)



120-200型 (1800×1500～3000×3000)



抜きし性能

製品内幅	レベル2地震動における要求性能			SJボックス	
	製品長	屈曲角	抜きし量	屈曲角	抜きし量
600～1500mm	2000mm	0.24度	30mm	1.0～2.0度	-5～+35mm
1800～3000mm	2000mm	0.24度	30mm	0.8～1.3度	-5～+50mm

参考歩掛表

SJボックス

製品長 L=2000

(10m当り)

名称 歩掛り区		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	ホイールクレーン	基礎砕石費	均しコンクリート費	諸雑費
		人	人	人	日	%	%	%
①	0<B≤1250 0<H≤1250	0.5	0.3	1.1	0.3	32.0	59.0	11.0
②	1250<B≤2500 0<H≤1250	0.8	0.4	1.6	0.4	41	97	
③	0<B≤1250 1250<H≤2500					29	61	
④	1250<B≤2500 1250<H≤2500	1.0	0.6	2.1	0.5	33.0	79.0	
⑤	2500<B≤3750 1250<H≤2500	1.1	0.8	2.6	0.7	37.0	94.0	
⑥	2500<B≤3750 2500<H≤3000	1.3	1.0	3.1	0.9	31.0	76.0	

製品長 L=1500

(10m当り)

名称 歩掛り区		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	ホイールクレーン	基礎砕石費	均しコンクリート費	諸雑費
		人	人	人	日	%	%	%
②	1250<B≤2500 0<H≤1250	1.0	0.7	2.2	0.4	32.0	75.0	7.0
④	1250<B≤2500 1250<H≤2500	1.4	0.9	2.9	0.5	25.0	61.0	
⑤	2500<B≤3750 1250<H≤2500	2.2	1.4	4.5	0.8	26.0	68.0	
⑥	2500<B≤3750 2500<H≤3000	3.2	2.0	6.7	1.1	16.0	44.0	
⑦	3750<B≤5000 1250<H≤2500	4.3	2.7	8.7	1.5	21.0	32.0	

製品長 L=1000

(10m当り)

名称 歩掛り区		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	ホイールクレーン	基礎砕石費	均しコンクリート費	諸雑費
		人	人	人	日	%	%	%
⑤	2500<B≤1250 1250<H≤2500	2.8	1.7	5.8	1.3	20.0	51.0	6.0
⑥	2500<B≤3750 2500<H≤3000	4.0	2.6	9.3	1.9	14.0	33.0	
⑦	3750<B≤5000 1250<H≤2500	6.1	3.6	12.8	2.6	15.0	23.0	

SJボックス クレーン規格

規格	
内空高、内空幅:2.5m以下	ラフテレーンクレーン25t吊り
上記以外の区分範囲	ラフテレーンクレーン45t吊り

- ・工業会歩掛より
- ・基礎砕石費・均しコンクリート費・諸雑費は、労務費とクレーン運転費の合計に乗じた金額を計上して下さい。
- ・工事歩掛要覧に掲載されていないサイズについては、全国ボックスカルバート協会歩掛りを引用しています。

1. 歩掛りは、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。
2. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。
3. ホイールクレーンは賃料とし、内空高2.5m以下は25t吊、内空高2.5m超は45t吊とする。
4. 縦締め歩掛は、直線部にのみ適用する。
5. 諸雑費は労務費とホイールクレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。  
ただし、諸雑費として計上する金額は、上限値とする。  
[諸雑費] レバーブロック等の損料、敷モルタル等の材料費
6. 基礎砕石の敷均し厚は25cm以下を基準としており、これより難しい場合は別途計上とする。
7. 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用できる。
8. 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時の剥離材塗布及びクレーン作業を含む。

